

**学校のスタッフとして生き生きと働く！
～自由な発想で学校事務をデザインする～**

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。
なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 校納金5年度の口座振替額の提案（R5年2月）

【背景と目標】 令和3年度末に決定し、令和4年度から給食費・PTA会費・体育後援会費・実習費・学級費を含めた口座振替とし、現金集金をなくした。4月から2月の年11回の口座振替しているが、ほぼ毎月の振替金額が違っていた。（年間予告をしているため、調整月以外の変更なし。）学級費から支払っている予約購入の教材（ワーク等）の価格が1割以上高くなることが分かり、その他物品も物価上昇により高くなることが予想された。

校納金口座振替の通知は教頭、データ登録は事務（臨時）が担当。PTA会費・体育後援会費は教頭、給食費・実習費・学級費は教員が分担して担当している。

現在校へは令和4年度から勤務している。校納金の担当者ではないが、校務分掌では経理部の長になっているため、全体を調整。

【協働・取組】 令和4年度の学級費の支出内訳と支払時期を確認。
令和5年度のワーク等の教材価格を確認。
毎月の集金額の変化を少なく設定し、PTA役員会に間に合うよう資料作成、提案した。

【成果と課題】 提案どおりに承認されて、執行中。
6月から12月まで給食費の半額補助措置が決定され、集金額の見直しが必要となった。
会計取扱要領がなく、伺いシステムが定着していない。

【教訓】 今後も各担当と情報共有し、学校全体の必要額をつかみ、保護者負担額を減すとともに会計の簡素化を図りたい。

- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
 - ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

- | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| ① 実践の自分の満足度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 実践への周りの反応 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |